

卵巣癌（進行・再発） 2nd Line以降  
CBDCA+PLD（PLD-C）療法

ケル目

患者ID: @PATIENTID

年齢: @PATIENTAGE 歳

患者氏名: @PATIENTNAME

性別: @PATIENTSEX

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m <sup>2</sup> )
@HEIGHT01_D	@HEIGHT01_D	#VALUE!

投与スケジュール: 1コース: 28日間

使用薬剤: ドキソルビシン リポソーム (PLD): ドキシル注 20mg/V  
カルボプラチン (CBDCA): カルボプラチン注 150mg/V、450mg/V

使用基準: class A

注意事項: ドキシル添付文書及び適性使用ガイドに準じて投与すること。

※手足症候群の予防のため、ドキシル投与開始30分前から投与終了30分後まで手首、足首を冷却すること

※ドキソルビシン総投与量が500mg/m<sup>2</sup>を超えると心筋障害によるうっ血性心不全が生じる可能性がある。

縦隔に放射線療法を受けた患者又はシクロホスファミドなどの心毒性のある薬剤を併用している患者では、より低い総投与量(400mg/m<sup>2</sup>)で心毒性が発現する可能性があるため注意すること。

※投与前～投与中の心機能異常に要注意。(LVEF値は少なくとも開始時、累積投与量300mg/m<sup>2</sup>を超えた時点、400mg/m<sup>2</sup>を超えた後は毎コース実施すること)

※本剤投与開始前、及び本剤投与中は頻回に心機能検査(心電図、心エコー、放射性核種スキャン、心内膜心筋生検等)を行うなど患者の状態を十分に観察すること。

※急性のinfusion reaction(ほてり、潮紅、胸部不快感、呼吸困難、悪心、熱感、背部痛、頻脈、そう痒症、鼻漏、腹痛、動悸、血圧上昇、顔面腫脹、頭痛、悪寒、胸痛、胸部及び咽喉の絞扼感、発熱、発疹、チアノーゼ、失神、気管支痙攣、喘息、無呼吸、低血圧、息切れ等を特徴とする)があらわれることがある。これらの症状は、投与中止又は終了後、数時間から1日で軽快することが多く、また、投与速度の減速により軽快することもある。一方、重篤で致死的なアレルギー様又はアナフィラキシー様のinfusion reactionがあらわれることがあるので、緊急時に十分な対応のできるよう治療薬と救急装置を準備した上で投与を開始し、infusion reaction発現の危険性を最小限にするため投与速度は60mg/hrを超えないこと。このようなinfusion reactionが生じた場合は投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

※腫脹、疼痛、紅斑、手足の皮膚の落屑を特徴とする手掌・足底の皮疹があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

※口内炎があらわれることがあるので、本剤投与時には頻回に観察を行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

投与量: Ccr実測値 or Ccr値を選択。CBDCA投与量はAUCより算出。

Ccr値 (mg/dl)	目標AUC (mg・min/ml)
	5.0

Calvertの計算式: 投与量 (mg/body) = 目標AUC値 × (GFR+25)  
GFRはCcrを代用して計算。

薬剤	標準投与量	計算値 (mg)	投与量 (mg)
ドキシル	30 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!	
カルボプラチン	AUC 5mg・min/mL	#VALUE!	

<< タイムスケジュール: 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

day1: 1月1日 (水)

※手足症候群の予防のため、ドキシル投与開始30分前から投与終了30分後まで手首、足首を冷却すること

0時00分 ① 生理食塩液 50mL + グラニセトロン 1A + デキサート 9.9mg  
15分で点滴静注

0時15分 ② 5%ブドウ糖液 250mL + ドキシル 0mg  
90分で点滴静注 0.0mL  
※フィルターなしルートで投与

※急速な投与はinfusion reaction発現の恐れがあるため、投与速度が60mg/hrを超えないこと  
※輸液ポンプの使用を考慮すること

1時15分 ③ 内服 アプレピタントカプセル 125mg 1×(1) カルボプラチン開始1時間前頃

1時45分 ④ 5%ブドウ糖液 100mL  
30分で点滴静注

※急速に投与しないでください

2時15分 ⑤ 5%ブドウ糖液 250mL + カルボプラチン 0mg  
60分で点滴静注 0.0mL

3時15分 ⑥ 生理食塩液 50mL  
フラッシュ

day2~3: 1月2日 (木) ~ 1月3日 (金)

起床後 ⑦ 内服 アプレピタントカプセル 80mg 1×(2) 起床後

REFERENCE

Eric Pujade-Lauraine, Uwe Wagner, Elisabeth Aavall-Lundqvist, et al., J Clin Oncol 28:3323-3329.  
Pegylated Liposomal Doxorubicin and Carboplatin Compared With Paclitaxel and Carboplatin for Patients With Platinum-Sensitive Ovarian Cancer in Late Relapse.